■志望校合格までの最強プロセス

●受験校決定から受験までの流れ

10月	11月	12月	1月	2月	3月
第５回　高校入試合格判定模試 進路説明会	第６回　高校入試合格判定模試 三者面談スタート 定期考査対策授業	プレ冬期講習開始 入試直前３ヶ月特訓シリーズ開講 冬期講習開始	大予想！プレ模試 大予想！模試スタート 私立高校入試　専願・推薦など	進路説明会 私立高校入試　前期・一般など 公立高校入試　推薦・前期など 公立高校入試受験願書提出　一般・後期	公立高校入試直前授業・最終大予想！模試 **公立高校入試　※広島は２月下旬**
受験進路決定		私立受験校最終決定		公立受験校最終決定	

●公立高校入試日

福岡県	【推薦】【特色化選抜】 令和９年２月２日(火)・３日(水)	【一般】令和９年３月９日(火)
佐賀県	【特別選抜】令和９年２月２日(火)	【一般】令和９年３月２日(火)・３日(水)
長崎県	【特別選抜】令和９年１月26日(火)	【一般】令和９年２月16日(火)・17日(水)
大分県	【推薦】令和９年１月28日(木)・29日(金)	【一次】令和９年３月３日(水)・４日(木)
熊本県	【前期（特色）】令和９年２月２日(火)	【後期（一般）】令和９年３月４日(木)・５日(金)
宮崎県	【推薦】令和９年２月３日(水)	【一般】令和９年３月３日(水)・４日(木)
鹿児島県	【推薦】令和９年２月２日(火)	【一般】令和９年３月３日(水)・４日(木)
広島県	【一次】令和９年２月24日(水)～26日(金)	

■志望校・受験校はこう決める！

■志望校・受験校決定のための最大考慮点

入試(公立高校)直前３ヶ月間で、自分自身も驚くほど成績が向上する。

志望校・受験校を最終的に11月の時期で決める受験生がいます。しかし、英進館の受験生は、毎年入試直前３ヶ月間で学力を一番伸ばしています。なぜなら、英進館では、入試直前４ヶ月まで基礎的な学習内容を中心に弱点補強をするカリキュラムで学習しますが、直前３ヶ月間は、単元を融合した入試問題が解ける実戦力をつけるカリキュラムで学習するからです。

したがって、直前３ヶ月で学力が飛躍的に伸びること、また伸びると信じ、寸暇を惜しみ、日々努力することを誓い、第一志望校を決して下げず、最後までがんばれば、必ず君は栄冠を手にします。

■テストの偏差値の見方

英進館の「高校入試合格判定模試」の偏差値で志望校の合格可能性を予想する。

偏差値で志望校・受験校の合格可能性を予想するときに、いくつかの注意点があります。

① 偏差値は動く

テストの出来不出来で偏差値は±４（300点満点で約20点、500点満点で約28点／以下の例は300点満点の場合です）は変動します。偏差値が下がったからといって短絡的に志望校を下げなければと思わないこと。総合点で20点の幅を科目で考えると、１科目あたり４点です。１問あたりの配点が１点から２点だとすると、１科目で２問から３問のケアレスミスということです。充分に挽回できる範囲です。このことを考慮せず、短絡的に偏差値を判断するのは意味のないことです。言いかえれば、偏差値は「キーワードチェック」を確実にやればすぐにでも４ＵＰするということです。

② 英進館の偏差値と英進館以外のテストとの偏差値は比較できない

テスト受験者の母集団が違えば、同じ学力でも偏差値は違ってきます。英進館の偏差値は、他のテスト会での偏差値より低く出ます。なぜならば、英進館の受験者のレベルが高いからです。もし、他のテスト会のテストを受験し偏差値を比較するときは、要注意です。

■志望校・受験校の決め方

今年の私立・公立高校の入試結果から学校別の偏差値ランク表を参考にして、志望校・受験校を決めていく受験生が多く見受けられます。しかし、このランク表は、あくまでも今年の結果です。来年度の入試では、募集定員の増減や受験者の増減によって大きく倍率が変わり、合格ラインの偏差値が上がったり、下がったりするものです。したがって、これからの受験情報に耳を傾け、私立高校の受験状況をよく見極め、英進館の担任教師と充分に相談しながら私立・公立の志望校を決めていくことです。

■併願作戦を立てる

第一志望校合格へのプロセスとして、第一志望校受験の前に、入試体験をしておくとよいでしょう。

入試の経験は何よりも大切で、時間配分、解いたことのない問題・難問が出題された時にその場でどう対応するかの判断などは、実際の入試本番でないと経験できません。夢実現のための第一志望校合格には、事前に経験できること、対処できることはすべて行うことが必須となります。「受験校は、第一志望校のみ」とするのではなく、併願作戦を立てるのがよいでしょう。

■合格までの効果的な学習法

① 英進館の授業宿題予定表に従った学習計画をたて、英進館の授業がない日は、毎日最低でも３時間は自宅で勉強する。

テスト結果を気にするよりは、目標達成までのプロセスを一番大切にすること。プロセス重視の第一は、英進館の授業を一番大切にすること。行事があって遅刻しても、できる限り授業は欠席しない。そして、塾がある日、ない日の２パターンについて、緻密な学習計画を立てる。５科目のバランスに注意し、宿題以外に復習の時間を確保する。１週間計画を実行し、無理、無駄な部分の修正をする。 計画が確定すると、あとは実行するのみ。できない計画は何の意味もない。

② 私立高校の過去の入試問題の学習

私立高校の場合、問題作成者は毎年ほぼ同じ教師である場合が多いため、難易度、傾向とも、例年大きな差はない。過去の入試問題は最低でも３年分は解くこと。ただ解くのではなく、難易度、傾向、試験時間をよく考慮しながら、観察するような気持ちで問題にあたること。12月からの「入試直前３ヶ月合格特訓」の中で、私立高校入試も念頭に総復習を実施していく。

③ 満点答案の作成

これからは、復習に力を入れるほうが、能率が上がる。間違った問題はきちんと復習をし、１週間後また解いて、完全に満点が取れるまで、復習をくり返そう。 重要問題はくり返し出題される。

④ キーワードチェック の徹底

１月の大予想！模試の開始時点でも、１科目で２問から３問のケアレスミスで失点している生徒がいる。これは偏差値でいうと、４ほど低く出ていることになる。模試の成績が悪いと悲観するのでなく、「キーワードチェック」の徹底を図ろう。それだけで確実に偏差値を４ＵＰすることができる。

⑤ 間違いノートの作成／自分だけの参考書

間違いノートは面倒な分、自分の言葉で書くことによって、記述力がつく。間違いノートは、受験直前に効率の良い勉強ができるだけでなく、入試のときに見るだけで気持ちが落ち着き、自信が持てる。

⑥ 受験勉強を自分で管理する

自分が何をやるのか（タスク）といつやるのか（スケジュール）を明確化することで、確実に実行につながり、受験勉強を自分で管理することができるようになる。また、これは将来の高校・大学や社会人としての生活を送る上でも役立つ。

自分を疑え!!

▸東筑高校、九州国際大学付属高校、弘学館高校　合格
　O･M　さん（東筑高校一年　　出身校　北九州市立則松中）

　僕は英進館の支援を受け、二〇二六年三月に、第一志望だった東筑高校に合格することができました。英進館の先生方の熱心な指導がなければ、僕は間違いなく合格できなかったでしょう。
　僕が英進館に通い始めたのは小学四年生の冬で、小学五年生から中学受験のクラスで、力試しとして中学受験をしました。中学受験の当日も、英進館の先生方が応援に来てくれており、その結果合格することができました。中学生になってからは、英進館による早いテンポでの授業やプリント学習で勉強と部活動を両立することができました。最初に目標にした「文武両道」を英進館は可能にしてくれました。
　部活動を引退した後、高校受験にだけ集中するようになり、僕が、ぶつかった壁はケアレスミスの多さです。英進館のテストや模試は基本的に時間が短く、時間的なあせりから早く早く解こうとしてしまい、キーワードチェックをおろそかにしてしまい、結果としてケアレスミスを連発していました。一番酷い時は自己採点から二十点下がったことがあります。もちろんそんなことは受験生ではありえません。あってはなりません。しかし、ケアレスミスを無くすことができれば、点数をグッと上げることができます。ケアレスミスはそのままのびしろです。その日から、僕が今まで受けたテストからもう一度ミスの傾向を徹底的に調べ上げ、キーワードチェックを必ず行うようにしました。指定語句がある場合は、一文字ずつチェックをし、両手で一文字ずつ確認をしました。
　このように気を付けなければ人はミスを生んでしまいます。せっかく解ける問題も落としてしまうのです。しかし、英進館で厳しい授業を受けてきたあなたたちならば、分からない問題はほぼないでしょう。ケアレスミスがなければ絶対に大丈夫です。それでは、がんばってください。

（「巣立ち」より抜粋）

⑦ 入試直前３ヶ月特訓

　11月の定期考査が終わったら、いよいよ「入試直前３ヶ月特訓シリーズ」がスタートする。第Ⅰ期（入試基礎力完成講座、12月・プレ冬期講習）、第Ⅱ期（応用・記述力完成講座、冬期講習）、第Ⅲ期（入試実戦力完成講座、１月～公立入試）に分け、ライバルと切磋琢磨することで、合格に必要な学力と入試本番に力を出せる強靭な精神力を身につける。

⑧ ３学期　いよいよラストスパート

　２学期までは、週17時限（公立クラス）で授業を実施、３学期からは、週20時限以上の授業時間を確保して、公立高第一志望校合格をめざす。

１月･２月ー**「大予想！模試」**を毎週実施。私立高校入試完全突破対策授業と公立高校入試実戦力アップ授業を実施し、**「大予想！模試」**の結果で毎週クラスの入れ替えを行います。各公立高校の合格ラインも毎週発表。規模、内容ともに本番の入試に最も近い模試として、受験生を第一志望校合格へと導く。

入試前２週間ー公立高校入試直前特訓演習と入試激励会を実施。
直前は、時間配分、合格答案の作り方、キーワードチェックなどの最後のつめをおこなっていく。また、入試激励会では、最後の注意と、ファイトがわく激励を担当教師が実施。